

# おとくにしんぶん 8 2013

http://www.otokuni-jc.org/

発行／公益社団法人乙訓青年会議所 〒617-0826 長岡京市開田3丁目 10-16 長岡京市立産業文化会館2F 編集／JC 運動情報委員会

## Contents

理事長監事

選出委員選挙

七月オープン例会

乙訓の元気



**理事長対談**  
**井上元局長×岡村猛**

幹線道路、郷土愛、府政運営の方針、乙訓地域の振興（水辺フェスティバル）、乙訓青年会議所へのメッセージ、以上五点について。

（岡村理事長）初めに幹線道路の整備について一言お願い致します。

（井上局長）第二外環状道路の供用開始によって、時間短縮や通過交通の減少などのメリットがある反面、デメリットもあるので、気をつけていかなければならないと思います。

乙訓地域ではそれ程心配はないですが、周辺地域では、多くの方が来られるだけでなく、吸い取られる、いわゆるストロー効果の心配があり、通過地点にならないような施策が必要になると思います。

例えば、新設される西山天王山駅などを活用した鉄道との連携、パークアンドライドなどの施策、さらには本年度の京都府の予算にも計上していますが、二外を使って乙訓と中北部をつなぐような仕掛け・交流事業が必要と考えています。

（岡村理事長）京都の青年会議所は京都ブロック協議会には十三の青年会議所がありまして、宮津や京丹後の青年会議所の仲間との交流を考えると、大変便利になったと話しています。

一方で、中間地点の綾部や南丹などはまちの勢いがなくなってきたと心配する声を聞いていて気になる事です。

（井上局長）ストロー効果の影響が出ないよう、府としても先程申し上げたような事業等について、地元のみならず、青年会議所の皆さんと共に考えて行かなければならない事だと思っています。

（岡村理事長）乙訓地域では市長対談などをさせて頂いている中で、向日市などでは車の流れが明らかに変わってきたと思います。

（井上局長）京都府では、総合計画として「明日

## 会員募集

青年会議所（JC）は「明るい豊かな社会の実現」を理想とし、「奉仕・修練・友情」を信条として様々な活動をしている青年経済人の集まりです。会員資格は二十歳から四十歳迄と年齢制限があり、メンバーは限られた時間の中で次代のリーダーとなる責任感を持ち切磋琢磨しています。地域の産業を担う青年経済人の人的ネットワークを広げ、より青年会議所運動を展開する為に、メンバー一同、共に夢を語り合える仲間としてJCの扉を開いて頂ける事をお待ちしております。乙訓青年会議所では随時メンバーを募集しております。

ご興味がある方は公益社団法人乙訓青年会議所事務局（〇七五―九五七―二三〇）まで



**七月オープン例会**  
七月十一日（木）長岡京市立中央公民館市民ホール3Fに於いて、青少年育成委員会の担当される七月オープン例会が開催されました。

例会では、講師に西居院第二二代住職 廣中邦充氏をお招きし、「心の成長」～人との絡み合いで心は成長する～をテーマに御講演して頂きました。講演では、社会道徳を伴った大人が後ろ盾になることが、心と身体との成長が不安定になり易い子供には必要であり、社会道徳の成長には

は家庭内や地域内の関わりが大切であり、また心の成長には人間同士のコミュニケーションが必要である事を教えて頂きました。多くの方が、今までの子供達への接し方や、これからの子供達の事を改めて考える例会になったのではないのでしょうか。また講師の廣中氏に於きましては体調の悪い中、心のこもった御講演をして頂き有難う御座いました。

（記事 黒川 昌哉）



## 乙訓の元気

### 八条ヶ池周辺地区 都市景観大賞

長岡京市の長岡天満宮を含む「八条ヶ池周辺地区」が都市景観大賞において大賞（国土交通大臣賞）を受賞しました。

八条ヶ池周辺地区は長岡京市に中心市街地の近隣にありながら、広大な池と美しい水上橋、桜並木やキリシマツツジを始めとした緑豊かな空間が整備されています。また、和風を基本とした閑静な住宅街と長岡天満宮が西山連峰と一体となつて、人と自然が調和した街並みをなしています。季節ごとに市民による様々なイベントが開催されるとともに遠方からも観光客が訪れ、水景、緑景、生活景が一体となつた市民の憩い・交流の場として長岡京市を象徴する場所として市民

### 文化少年団

七月一五日（月）長岡京市中央生涯学習センター六階「食工房」にて文化少年団の七月事業「料理教室」が開催されました。

料理作りの体験と致しまして、たこ焼きと水菓子を作りました。各班に分かれて料理を作ってもりましたが初めはなかなか



に深く愛される場所となつています。

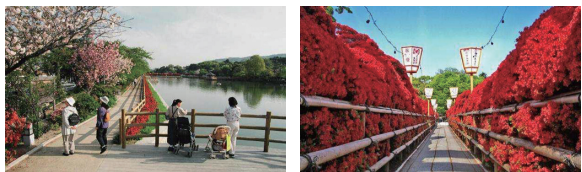
長岡京市は京都や大阪のベッドタウンとして利便性の高い都市でありながら、歴史に育まれた景観を守り活用し、後世に受け継いでいこうとする市民と行政の継続的な努力が評価されて今回の受賞に至りました。

「長岡京」の都から始まった乙訓地域。それぞれの時代の創意工夫によって環境整備が積み重ねられて、今に至ります。これからも先輩世代が育んできた美しい地域を守り、次世代に引き継ぐために青年会議所運動に邁進してまいります。

（記事 堤 淳太）

まく出来ない班もあり子ども達は戸惑っていました。悪戦苦闘しながら何回かたこ焼きを焼く内に上手に焼けるようになり、また中に入れる食材も蛸だけではなく色々な食材を入れ、いつもと違うたこ焼きを作って食べてもらいました。悪戦苦闘する事で料理を作る楽しさや、親に食事を作ってもらっている事への感謝の気持ちを持てる事業になったのではないのでしょうか。子供達はもちろん大人達も楽しそうに作っている姿が印象的でした。

（記事 黒川 昌哉）



編集後記

暑くなってきました。熱中症に気を付けて活動して参りましょう。

編集長 谷口直満

JC 運動情報委員会

委員長 崔祥龍 編集長 谷口直満 副編集長 中路耕太

編集委員 岩井泉二郎 黒川昌哉 高井茂行 谷川真也 堤淳太 中小路健吾